

令和6年(2024年)12月17日

札幌市市民文化局  
市民生活部消費生活課  
TEL : 011-728-2111

## 令和6年度 年末年始における生活関連商品の需給動向・価格見通しについて

札幌市では、生活に密着した食品等の生活関連商品の価格の動向を的確に把握し、市民に情報提供するため、業界団体や事業者の協力を得て、年末年始における各商品の需給動向及び価格見通しに関する調査を行っております。

この度、本年の調査結果について、下記のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

### 記

#### 1 御協力いただいた業界団体及び事業者

- 札幌みらい中央青果株式会社
- カネシメ高橋水産株式会社
- 札幌食肉卸業協会
- ホクレン農業協同組合連合会
- 北海道製麺協同組合
- 日糧製パン株式会社
- 札幌地方石油業協同組合

#### 2 調査時期

令和6年11月下旬

#### 3 概要

##### (1) 青果物

前年と比べ、17品目中、前年並み5品目、やや高値7品目、高値5品目となった。天候の影響による出荷量の減少によりやや高値～高値の品目が多い傾向にある。

##### (2) 水産物

前年と比べ、14品目中、やや安値1品目、前年並み1品目、やや高値8品目、高値4品目となった。円安の影響によりやや高値～高値の品目が多い傾向にある。

##### (3) 畜産物

前年と比べ、8品目中、やや安値4品目、やや高値3品目、高値1品目となった。国産豚肉に関しては価格相場が北海道内における過去最高水準で推移している。

##### (4) その他食料品

前年と比べ、7品目中、やや安値1品目、前年並み1品目、やや高値5品目となった。人件費及び原材料費の高騰によりやや高値の品目が多い傾向にある。

##### (5) 灯油

前年並みの見込み。

令和6年度 年末年始における生活関連商品の価格見通し 一覧表

	安値	やや安値	前年並み	やや高値	高値
青果物			きゅうり さつまいも はくさい たまねぎ きゃべつ	ごぼう れんこん 里いも みつば だいこん ばれいしょ レタス	みかん 生しいたけ にんじん ほうれん草 長ねぎ
水産物		たこ	味付数の子	新巻さけ 飯寿司 まぐろ 赤えび はまち たらばがに スモークサーモン 板かまぼこ	いくら いか ほたて こんぶ
畜産物		国産牛肉 輸入豚肉 国産鶏肉 輸入鶏肉		国産豚肉 羊肉 ロースハム	輸入牛肉
その他 食料品		黒豆	小麦粉	もち米 鶏卵 生そば ラーメン パン	
			灯油		

※ 価格見通しの用語基準

前年並み = 前年同期比±5%未満

やや安値・やや高値 = 前年同期比±5～15%未満

安値・高値 = 前年同期比±15%以上

令和6年度 生活関連商品価格動向懇談会調査票

品目		価格見通し	需給動向
青	きゅうり	前年並み	天候不順で出荷量が少ない場合は、高騰の可能性あり。
	さつまいも		各産地から潤沢な入荷が見込まれ、平年並みの入荷、単価見込み。
	はくさい		12月頃、順調な出荷の見通し。
	たまねぎ		前年も高値で推移していたが、今年度産も前年度並みの高値の見込み。生育期の干ばつで小玉傾向となり、出荷数量は減少の見込み。
	きゃべつ		現状は生育遅れのため、愛知県産、千葉県産の出荷量が少なく単価高だが、12月中旬には順調な出荷となる見通し。
果物	ごぼう	やや高値	生育期に天候不順だったことから、入荷減少の見込み。
	れんこん		茨城県産中心の販売。作柄は良くなく、入荷量は微減。
	里いも		埼玉県産、千葉県産は前年並みを見込むも、九州産、四国産は不作で引き合いは強い。
	みつば		出荷数量が減少模様のため、今後は高値推移していく予想。
	だいこん		高温障害の影響で収量減。
	ばれいしょ		天候の関係で良品質のものが少なく、品質の良いものはやや高値で推移する見込み。

令和6年度 生活関連商品価格動向懇談会調査票

品目		価格見通し	需給動向
青 果 物	レタス	やや高値	関東の産地が前進出荷の傾向がある。後続産地も暑さの影響が出て、全国的に品薄。
	みかん	高値	有田ミカンの入荷量は昨年対比100%の見込みであるが、愛媛県など他産地での収穫量が減少している。
	生しいたけ		コストアップにより単価高で推移している。
	にんじん		千葉県産中心の入荷。夏秋の生育期の猛暑により発芽不良があり、蒔き直したため出荷が遅れている。
	ほうれん草		前年は暖冬だったため露地物が潤沢にあったが、今年は例年通りの高値予想となる。
	長ねぎ		全国的な猛暑の影響で、年内分の生育が遅れている。

令和6年度 生活関連商品価格動向懇談会調査票

品目		価格見通し	需給動向
水 産 物	たこ	やや安値	昨年と水揚げ量はさほど変わらないが、近年続いている高相場疲れが見え若干の単価下げで推移している。
	味付数の子	前年並み	原料価格自体は下がったが、もろもろのコストアップ等を踏まえて前年並みの価格。但し、市況は芳しくなく原料・製品共にだぶつき気味で今後は価格下落の可能性もあり。
	新巻さけ	やや高値	道産秋鮭の水揚げ量が昨年から減少。そのため減産傾向にある。
	飯寿司		原料高騰、人件費などがあり昨年よりやや高めで推移している。
	まぐろ		冷凍鮪が高値で取引される予測であり、それに伴って養殖鮪もやや高値になると予測する。
	赤えび		現地(アルゼンチン)豊漁のためドル建価格安となるも、円安の影響により日本での販売価格は上昇予想。量販店での消費がメインで価格上昇により需要減か。
	はまち		夏場の高水温、赤潮で大量に死滅し、養殖業者が抱える在庫が減少。そのため浜値が高騰している。
	たらばがに		海外需要も強く為替の影響もあり、相場は上げ傾向。
	スモークサーモン		為替の影響などで輸入原料高騰のため、昨年より高めの推移になる。
	板かまぼこ		主原料であるアラスカ産のすけそうすり身は減産と円安の影響で高値で推移。製品の卸値については前年比で3~5%の値上げとなっている。
いくら	高値		昨年は価格が安かったこともあり、国内在庫の消費が進み品薄状態となった。今シーズンは為替の影響や鮭の水揚げ不足により原料不足が考えられるため、製品は高値推移となる。

令和6年度 生活関連商品価格動向懇談会調査票

品目		価格見通し	需給動向
水産物	いか	高値	あらゆるイカ類が水揚げ不足であり、価格が高騰している。
	ほたて		アメリカ・台湾等輸出向けの引合いが強いため。
	こんぶ		北海道全域で生育不良のため減産しており、高値傾向にある。

令和6年度 生活関連商品価格動向懇談会調査票

品目		価格見通し	需給動向
畜	国産牛肉	やや安値	観光や外食は需要回復の傾向になっており、為替が円安になっていることから輸入牛肉の単価が高騰し、国産牛肉への変更で需要が増えている。
	輸入豚肉		採算が合わず減産する海外精肉業者が増えていることや為替の影響により価格が高騰しており、需要が減少している。
	国産鶏肉		鶏インフルエンザの発生での生産減と季節的要因に起因する需要増から10月以降不足するところまでに至っている。年末に向けて価格が上がっていく状況。
	輸入鶏肉		昨年の鶏インフルエンザと為替状況の影響が若干減ったことから国内出回り在庫が増えている状況。
産物	国産豚肉	やや高値	価格が北海道における過去最高水準に達しており、相場が高値で推移している。輸入豚の為替状況が悪いことから国産豚への需要が増えている状況。
	羊肉		為替影響で価格が高騰しており、売価アップをすることで需要が若干鈍っている状況。
	ロースハム		加工食品用の輸入豚肉が高騰しているため、商品の値上げラッシュが続いている状況。
	輸入牛肉	高値	為替の影響や他国との買い負けにより供給量が減少している。

令和6年度 生活関連商品価格動向懇談会調査票

品目		価格見通し	需給動向
その他 の 食 料 品	黒豆	やや安値	昨年に比べ、作付面積の増反があった他、面積当たりの収量が良いことから販売価格は低下する見込み。
	小麦粉	前年並み	米国産小麦の良好な生産状況等を背景に、政府の小麦売渡価格は10月に引き下げられ、小麦粉価格は1月の改定に伴い若干値下がりする見込み。
	もち米	やや高値	生産費の高止まりを踏まえ、価格が上昇。もち米の使用用途によって状況は異なるが、主食用途を中心に品薄感が高まり、全国的な市中相場も前年対比で上昇している。
	鶏卵		例年同様、今後の鳥インフルエンザの発生状況にもよるが、昨年は鳥インフルエンザの影響から需要の回復が遅れ年末年始の相場は低調だったものの、今年度は通常年と同様の動きが予想されている。年末に向けた特需に合わせて今後も強含みで推移する見通し。
	生そば		物流費、人件費、原材料費の高騰により、昨年よりやや高値になっている。
	ラーメン		物流費、人件費、原材料費の高騰により、昨年よりやや高値になっている。
パン	カカオ豆、砂糖、餡、油脂類、米、包装材料などの上昇、さらに物流コスト、エネルギーコストや人件費なども上昇しているため、製品価格は前年に比べやや高値となっている。		



令和6年度 生活関連商品価格動向懇談会調査票

品目		価格見通し	需給動向
石油製品	灯油	前年並み	需要は年々減少傾向にあるが、メーカーの製造量及び製品輸入量に余裕があり、供給面に支障をきたすことはない。